

全建発第1～210号
令和元年10月 4日

一般社団法人 全日本建設技術協会
会 長 大 石 久 和 印省略

第659回建設技術講習会（Society5.0に向けた公共事業における新技術の活用）
の開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省・農林水産省はじめ都道府県及び市町村等に勤務する建設技術関係者約6万名をもって構成され、建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上並びに建設技術関係者の連携・交流を図り、安全・安心で豊かな国土づくりに寄与する施策の円滑な推進及び良質な社会資本の整備・保全に資することにより、社会の発展と公共の福祉の向上に寄与することを目的とした一般社団法人です。

本講習会では、道路、河川、港湾、都市・地域整備等の各部門別の行政課題はもちろん、災害に強い安全な国土づくり、これからの社会インフラの維持管理・更新、現場の生産性を高め、働き方改革を進めるためのi-Constructionの貫徹に向けた取り組み、AIやロボットなど新技術を活用した公共事業、公共工事の品質確保と入札契約の適正化、災害復旧、工事積算における動向と工事施工における合理化と安全対策など、建設事業の実施にあたって特に重要な課題を取り上げることとしております。また、講師には建設行政や建設技術等の各分野において造詣が深い方を迎え、公共事業に係る諸問題解決や実務の習得、最新情報の提供及び現場力向上のための現場視察など業務に直接役立つ内容となっています。

このたびの第659回建設技術講習会では、i-Constructionの貫徹に向けた取り組み、各分野へのICTの導入と効率化の推進、3次元設計の拡大（大規模構造物設計への拡大等）、公共事業における新技術やインフラ用ロボットの開発・導入促進などについて学ぶとともに最新の情報を得ることを目的としています。

本講習会は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。 謹白

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会 長 大 石 久 和

印省略

第659回建設技術講習会開催について (Society5.0に向けた公共事業における新技術の活用)

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚く御礼申し上げます。
本協会では、令和元年11月27日(水)～29日(金)、名古屋市において標記講習会を開催いたします。
この講習会では、i-Constructionの貫徹に向けた取り組み、各分野へのICTの導入と効率化の推進、
3次元設計の拡大(大規模構造物設計への拡大等)、公共事業における新技術やインフラ用ロボットの開
発・導入促進について学ぶとともに最新の情報を得ることを目的としています。
なお、本講習会は愛知県・名古屋市の共催(予定)、国土交通省の後援のもと実施することとしています。

①会場及び日程：別紙日程表のとおり

②聴 講 料：

区分	一般 (非会員)	会員		
		正会員	特別会員	賛助会員
通常料金	18,740円	13,648円	13,648円	13,648円
愛知県内の国・県・政令市に勤務	13,648円	2,037円	2,037円*2	—
愛知県内の市町村に勤務(政令市除く)	2,037円	0円	—	—
中部地区連合会管内の市町村に勤務*1	18,740円	2,037円	—	—
30歳未満	18,740円	2,037円	—	—
学生	0円	—	—	—

*1政令市職員は除く、*2特別会員は開催県内勤務または在住の者
※一般/会員の確認をしますので、申込み区分を間違えないようにして下さい。
※聴講のみの参加は可能です。 ※昼食の斡旋はありません。
※割引価格(2,000円)で参加の場合、取り消しはできません。
※平成30年度より「地区連割」を実施しています。

③現 場 研 修 料：6,800円〔昼食無(各自で取っていただきます)〕 ※現場研修のみの参加はできません。

④申 込 方 法：申込書に必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の控え〕を添えて期限までにメール又は
郵送にて全建事務局までお申込み下さい。
※会場でのお支払い等のご負担願います。

⑤申込書送付先：(一社)全日本建設技術協会 事業課 Mail: kensyu@zenken.com
〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 キーストーン赤坂ビル7F
TEL：03-3585-4546 FAX：03-3586-6640

⑥振込銀行口座：三菱UFJ銀行 赤坂見附支店 普通 0311142
口座名義：シャ)ゼンニホンケンセツギジュツキョウカイ
※必ず、お振込人名義(協会名)の前に、開催回数の「659」をつけ加えて下さい。
※振込手数料はご負担願います。

⑦申 込 締 切 日：令和元年11月8日(金) 必着(締切日以降に到着したものは受理できない場合があります)

※申し込みの取り消しについては下記のように処理いたします。講習会終了後に所属協会指定口座へ
ご返金いたします。なお、振込手数料を差し引いた金額をお振込させていただきます。

①	令和元年11月15日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
②	令和元年11月22日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
	上記②を過ぎてからの取り消し	返金できません

※テキスト及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しいたします。
※事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に、現場研修時は一切お断りいたします。

本講習会は「全建CPD(継続教育)制度」及び「CPDS(予定)」の認定講習会です。
【聴講/現場】全建：8.5単位/3.25単位、CPDS：(未定)

講習会情報については全建ホームページもご覧下さい。 <http://www.zenken.com/>

主催：（一社）全日本建設技術協会、愛知県（予定）、名古屋市（予定） 後援：国土交通省

第659回建設技術講習会（Society5.0に向けた公共事業における新技術の活用）日程
～Society5.0におけるi-Constructionの貫徹とICT技術を活用した効率化について学ぶ～

- ・i-Constructionの貫徹に向けた取り組み
- ・各分野へのICTの導入と効率化の推進
- ・3次元設計の拡大（大規模構造物設計への拡大等）
- ・公共事業における新技術やインフラ用ロボットの開発・導入促進

会場 …… 名古屋市公会堂（4階ホール）
〒466-0064 名古屋市昭和区鶴舞1-1-3 TEL052-731-7191(代)

（1日目）開場11:40		令和元年11月27日（水）		（敬称略）
12:40 13:00	あいさつ	愛知県知事 名古屋市長 （一社）全日本建設技術協会 専務理事	大村 秀章 河村 たかし 泊 宏	
13:00 14:30	Society5.0の実現に向けた取り組み ～i-Constructionの貫徹に向けた新技術の導入促進～	国土交通省大臣官房技術調査課 課長	岡村 次郎	
14:40 15:40	AIとi-Constructionが切り拓く社会インフラの未来	東京大学大学院工学系研究科総合研究機構 特任准教授	全 邦 釘	
15:50 16:20	【地域事業の紹介①】 庄内川河川事務所における建設ICTの取り組みについて	国土交通省中部地方整備局 庄内川河川事務所 所長	西田 将人	
16:20 16:50	【地域事業の紹介②】 東山動植物園再生整備プランについて	名古屋市緑政土木局東山総合公園 再生整備課 課長	奥谷 伸幸	
「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」 ＜希望者のみ＞（18:00～19:30(予定)）		LUAU AlohaTable（ルアウ アロハテーブル） TEL052-243-2777		
（2日目）開場 9:00		11月28日（木）		（敬称略）
9:40 10:40	BIM/CIMに関する動向について	国土交通省大臣官房技術調査課 建設システム管理企画室 課長補佐	那須 大輔	
10:50 11:50	新丸山ダムにおけるBIM/CIMの取り組みについて	国土交通省中部地方整備局 新丸山ダム工事事務所 副所長	折戸 充	
13:00 14:00	静岡県が目指す近未来の3次元データ活用 ～ソウハツする遊び場としてのVIRTUAL SHIZUOKA～	静岡県交通基盤部建設支援局 建設技術企画課建設ICT推進班 班長	杉本 直也	
14:10 15:10	点検業務へのAI・ロボット技術導入について	国土交通省総合政策局公共事業企画調整課 課長補佐	渡邊 賢一	
15:20 16:20	建設業界で進むスマートデバイス導入の効果	（一社）日本建設業連合会 インフラ再生委員会技術部会 委員	杉浦 伸哉	
16:20	閉会のあいさつ	愛知県建設技術協会 会長 （愛知県建設局 技監）	牧野 繁保	
（3日目）集合 8:00～		11月29日（金）		【現場研修】

名古屋城駐車場（8:15）出発
→ 庄内川しゅんせつ事業（一色大橋～新前田橋）（下車説明） → 一般県道羽島稲沢線（新濃尾大橋）建設事業（下車説明）
→ 昼食（名古屋市内） → 名古屋港金城ふ頭地区ふ頭再編改良事業（下車説明） → JR名古屋駅（15:40）着後解散
※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。
※講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。
全建CPD（継続教育）制度・CPDS（予定）認定プログラム 【聴講／現場】全建：8.5単位／3.25単位 CPDS：（未定）

第659回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1. 庄内川しゅんせつ事業 名古屋市中川区下之一色町～富田町

- ・庄内川は2000年の東海豪雨を受けて、激甚災害対策特別緊急事業（2000年度～2004年度）で河道しゅんせつを実施したが、激特事業実施後も同レベルの豪雨があった場合は計画高水位を超える洪水量が見込まれ、河道しゅんせつを継続して実施。
- ・国土交通省庄内川河川事務所は、2017年度に全国に先駆けてICT施工の河川しゅんせつを実施。
- ・2017年度に実施した河道しゅんせつ工は、全国の地方整備局に先駆けて、国土技術政策総合研究所とともにICT試験施工を実施。ICT試験施工は3件行い、しゅんせつ量は計16,700m³であった。
- ・マルチビームソナーを用いて、3次元起工測量と出来形測量を実施したところ、従来手法（深淺測量）の1日当たり作業量の約2倍に効率化が可能となり、MG（マシンガイダンス）バックホウによる浚渫で水中部での正確かつ効率的な掘削を実現。
- ・現在、一色大橋上流～新前田橋間において4件の工事でICTしゅんせつ工事を実施しており、しゅんせつ土量は約50,000m³を見込んでいる。



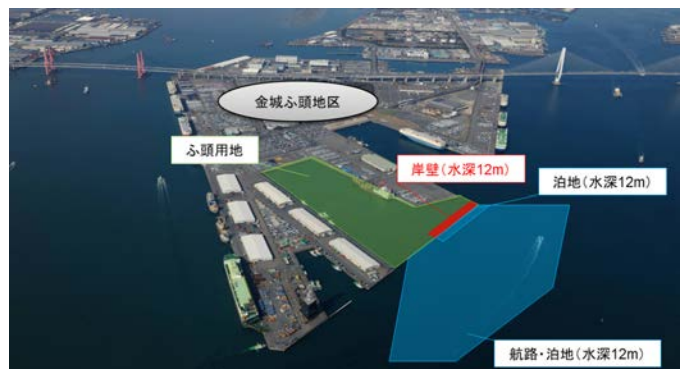
2. 一般県道羽島稲沢線（新濃尾大橋（仮称））建設事業 … 一宮市東加賀野井～岐阜県羽島市下中町

- ・木曽川に架かる濃尾大橋の慢性的渋滞の解消と県境を越えた広域的な結びつきの強化を図るための事業。
- ・東海道新幹線木曽川橋梁、名神高速道路木曽川橋の下流1km付近にて架橋を進めている。
- ・新濃尾大橋（仮称）は橋長759m、幅員11.5mの鋼5径間連続非合成箱桁橋（423m）＋鋼4径間連続非合成箱桁橋（336m）で構成。
- ・橋脚にはニューマチックケーソン工法を採用。支持層が深く、構造高が50mを越えるため、1回の非出水期での施工が困難。このため、2回の非出水期に分けて工事を実施。
- ・架橋位置には希少種の淡水魚の生息するワンドが広がっているため、環境保全にも配慮している。



3. 名古屋港金城ふ頭地区ふ頭再編改良事業 名古屋市港区金城ふ頭

- ・名古屋港は、完成自動車の輸出取扱台数が我が国の約4割を占め、全国第一位である。
- ・現在、完成自動車を取り扱う公共ターミナルは、金城ふ頭と弥富ふ頭に分散されており、点在する保管用地の利用や横持ち輸送を行っているため、保管・輸送コストが増大し、非効率な輸送形態となっている。
- ・また、近年は自動車運搬船の大型化により、既存岸壁の水深不足が顕著となっており、さらに、大規模地震発生時における完成自動車輸送に対応可能な岸壁が無い状況である。
- ・そのため、ふ頭再編改良事業として、金城ふ頭に完成自動車を取り扱う岸壁を集約し、大規模地震発生時の物流機能を確保できる耐震強化岸壁（水深12m）を整備するものである。
- ・金城ふ頭岸壁（水深12m）は、ハイブリッドケーソン構造を採用し整備を行っている。



第659回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

宿 泊 斡 旋：宿泊希望者には名古屋市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。

なお、宿泊代金につきましては、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。

宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局にお申し込み下さい。

問い合わせ先：西鉄旅行(株) 首都圏営業部 東京支店 TEL:03-6742-0324 FAX:03-6742-0328
〒113-0033 東京都文京区本郷3-10-15 (JFAハウス5階) 「全建担当デスク」迄
申込締切後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

※取り消しについて

宿泊日の前日から起算してさかのぼって		当日 (宿泊開始前)	宿泊開始後及び 無連絡不泊
4日前まで	3～1日前 (前日)		
無料	宿泊代金の20%	宿泊代金の80%	宿泊代金の100%

土日祝日及び営業時間外でのキャンセルの場合は、翌営業日での取り扱いとさせていただきます。
取消料に関しましては、ご本人様へご連絡の上、ご請求させていただきます。

斡旋する宿舎名、宿泊料

令和元年11月26日(火)、27日(水)、28日(木)

(1泊朝食付、サービス料・消費税含む)

宿舎名・所在地・電話番号	部屋タイプ	宿泊人数	宿泊代金
名古屋栄ワシントンホテルプラザ 名古屋市中区栄3-1-32 Tel.052-243-0410	シングル	40名	6,880円

※禁煙・喫煙の希望を承ります。空室状況により消臭対応となる場合がございます。予めご了承下さい。

※宿舎が決定次第、西鉄旅行(株)より「宿泊案内」が送付されます。

また、朝食不要とすることもできます。詳細は「宿泊案内」をご覧ください。

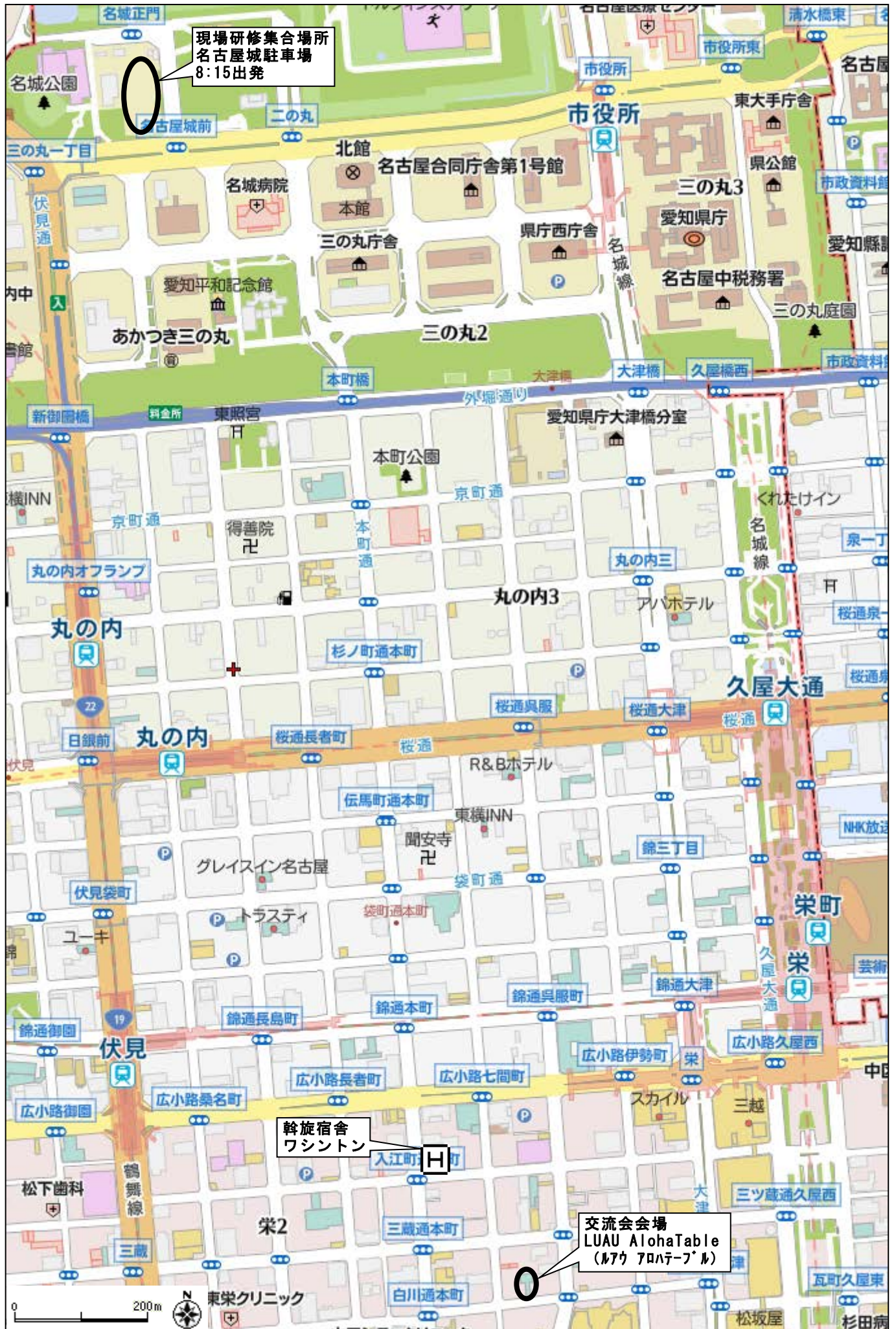
広域図



講習会会場



現場研修集合場所・幹旋宿舎・交流会会場



第 6 5 9 回建設技術講習会に参加の皆様へ！ 「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を開催します



(一社)全日本建設技術協会では、技術者の連携・交流を図るため「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を実施しています。これは、全国から本会講習会にご参加いただく方々の情報交換・意見交換や交流の場として活用し、また講演いただく講師の方にもご参加いただき、質疑応答や交流をはかる場としています。ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。

日時： 令和元年11月27日(水) 18:00～19:30(予定)
(第659回建設技術講習会 1日目講義終了後)

場所： LUAU Alohtable (ルアウ アロハテーブル)

会費： 2,000円(講習会受付時に徴収)

※参加希望の方は申込書の「交流会」欄に○印を記入して下さい。
※この交流会は会費制です。
※参加される方は必ず名刺を持参して下さい。
※立食パーティ形式でご当地グルメ等を用意しています。
※開催場所・時間等が変更になる場合があります。その際は講習会場にてご案内いたします。
※服装については特に問いません。



【交流会・意見交換会に参加予定の講師】

- | | |
|--------------------------------|----------|
| ・国土交通省大臣官房技術調査課 課長 | 岡村 次郎 講師 |
| ・東京大学大学院工学系研究科総合研究機構 特任准教授 | 全 邦釘 講師 |
| ・国土交通省中部地方整備局庄内川河川事務所 所長 | 西田 将人 講師 |
| ・静岡県交通基盤部建設支援局建設技術企画課建設ICT推進班長 | 杉本 直也 講師 |

※講師の都合により変更になる場合があります。



1. 講習会の参加者同士の交流促進をはかる
 - ①参加者の知見と人脈を広める(名刺交換)
 - ②意見交換・情報交換
2. 参加者と講師との交流・懇談
 - ①講師との交流
 - ②質疑応答など
3. 地元協会による催し(予定)
※都合により内容が変更になる場合があります。

<問合せ>



(一社)全日本建設技術協会 事業課 講習会担当
TEL 03-3585-4546 MAIL kensyu@zenken.com

一般社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名
(特別・賛助会員名、会社名)

第659回建設技術講習会（Society5.0に向けた公共事業における新技術の活用）申込書

<個人情報の取扱いについて>
申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に講習会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

参加者		年齢	勤務先 (所属課名まで記入のこと)	聴講者別			現場研修	交流会	宿泊申込		
(フリガナ) 氏名 (女性は番号に○をつけて下さい)	一般(非会員)			会員	正会員 30歳未満	予約日に○を記入して下さい					
1									11月 26日	27日	28日
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
聴講料 ※一般／会員の確認をします。申込み区分を間違えないようにして下さい。 一般(非会員) 名×18,740円＝ 円 会員(正会員・特別会員・賛助会員) 名×13,648円＝ 円 正会員(30歳未満、地元及び地区連管内の市町村) 名×2,037円＝ 円 ※正会員(30歳未満)とは、全国の30歳未満の「正会員」 ※正会員(地元及び地区連管内の市町村)とは、開催県内に勤務する「正会員・特別会員」 及び開催地区連合会管内の市町村(政令市除く)に勤務する「正会員」(賛助会員除く) 現場研修料(昼食なし) 名×6,800円＝ 円									宿泊代金は、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。 禁煙・喫煙の希望 がある場合には、“○禁”、“○喫”のように記入してください。		
計 円											

【お申込み時の注意について】 ↓全建に振込
正会員(30歳未満)でお申込みの方は必ず年齢をご記入ください。

【お申込みについて】
必要事項を記入し、申込金[銀行振込の(写)]を添えて期限までにメール又は郵送にてお申込み下さい。

【変更・取り消し・追加方法について】
電話での受付はいたしません。また、割引価格(2,037円)で参加の場合、キャンセルはできません。
本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、「再送」と明記の上、メール又はFAXをお送り下さい。
取り消しをする際には開催案内に記載しているキャンセル料がかかります。

【聴講時の昼食について】
昼食の斡旋はありません。

【現場研修時の昼食について】
今回の現場研修では昼食を用意しておりません。